

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社 石井工作研究所 上場取引所 東
 コード番号 6314 URL http://www.i-kk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井見敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務経理部長 (氏名) 辻野治弘 TEL 097-544-1001
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,915	25.0	△240	—	△210	—	△97	—
25年3月期第3四半期	1,532	△13.6	△356	—	△338	—	△390	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△12.52	—
25年3月期第3四半期	△50.23	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	6,291	4,934	78.4	634.85
25年3月期	6,215	5,023	80.8	646.35

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,934百万円 25年3月期 5,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期（予想）				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,220	37.0	△230	—	△205	—	△86	—	△11.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	7,800,000株	25年3月期	7,800,000株
26年3月期3Q	27,690株	25年3月期	27,354株
26年3月期3Q	7,772,505株	25年3月期3Q	7,772,854株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 1「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	1
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済政策「アベノミクス」と日銀による量的・質的金融緩和策が奏功して、円安や株高さらに家計、企業の景況感の上昇といったマインド面の改善をもたらし、実体経済面でも実質GDP成長率が回復基調を維持し、個人消費や住宅投資、公共投資の拡大・増加が続き、輸出も幾分回復し、企業業績の回復などを背景に設備投資もプラスに転じるなど効果が着実に顕在化しております。

半導体業界では、薄型テレビや従来型パソコン、デジカメ等の主要セット製品は厳しさが続いているものの、スマートフォンやタブレット端末などの多機能機器は好調なことから、総じて回復傾向にあり、メモリー価格は堅調に推進しており、設備投資は前工程装置を中心に回復がみられました。

このような経済状況のもとで、当社は半導体関連事業を中心に活発な受注活動を推進し、特にパワー半導体及び車載用製造装置の受注に注力しました。また、お客様のニーズに即した製品開発を推進するとともに購入品、材料等の仕入原価の低減や人件費、諸経費の節減に努めましたが、第1四半期に発生した出荷遅れ状態を一掃することが出来ず、売上は伸び悩みました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高19億1千5百万円（前年同四半期比25.0%増）となり、営業損失2億4千万円（前年同四半期は営業損失3億5千6百万円）、経常損失2億1千万円（前年同四半期は経常損失3億3千8百万円）、四半期純損失9千7百万円（前年同四半期は四半期純損失3億9千万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第2四半期会計期間より、「その他」に含まれていた「不動産・建築関連事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントに変更しておりますが、以下の前年同四半期比較については、数値の変更はありません。

①半導体関連事業

パワー半導体関連製造装置を中心に受注が増加したものの、出荷遅れの状態を一掃できず、全売上高の88.3%を占める半導体関連事業の売上高は、前年同四半期比では11.2%増の16億9千2百万円となりました。

②不動産・建築関連事業

太陽光発電設備の工事完了引渡による売上高は2億2千3百万円（前年同期実績・1千万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は32億5千1百万円となり、前会計年度末に比べ2億1千2百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が1億8千6百万円減少したものの、仕掛品が3億4千9百万円増加したことによるものであります。固定資産は30億4千万円となり、前会計年度末に比べ1億3千5百万円減少いたしました。これは主に土地が7千1百万円及び建物が4千2百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は62億9千1百万円となり、前会計年度末に比べ7千6百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は7億8千6百万円となり、前会計年度末に比べ1億7千1百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が3千2百万円及び引当金が3千8百万円それぞれ減少したものの、電子記録債務が2億8千4百万円増加したことによるものであります。固定負債は5億7千1百万円となり、前会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は13億5千7百万円となり、前会計年度末に比べ1億6千6百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は49億3千4百万円となり、前会計年度末に比べ8千9百万円減少いたしました。これは主に当期純損失の計上9千7百万円及び配当金の支払い3千8百万円等により、利益剰余金が1億3千6百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は78.4%（前会計年度末は80.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の業績予想については、平成25年11月11日付当社「平成26年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて発表いたしました金額に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,054,821	868,225
受取手形及び売掛金	1,376,117	1,412,570
商品及び製品	202,322	196,286
仕掛品	254,189	603,797
原材料及び貯蔵品	143,576	153,837
その他	31,302	40,229
貸倒引当金	△23,574	△23,447
流動資産合計	3,038,755	3,251,499
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	706,301	664,269
土地	1,820,173	1,748,966
その他(純額)	164,592	148,603
有形固定資産合計	2,691,067	2,561,838
無形固定資産	30,256	21,311
投資その他の資産	454,923	457,332
固定資産合計	3,176,247	3,040,483
資産合計	6,215,002	6,291,982
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	396,233	364,160
電子記録債務	—	284,339
未払法人税等	8,950	6,452
引当金	55,270	16,510
その他	154,061	114,585
流動負債合計	614,515	786,049
固定負債		
役員退職慰労引当金	435,368	446,718
その他	141,250	124,941
固定負債合計	576,618	571,659
負債合計	1,191,134	1,357,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,186,300	1,186,300
資本剰余金	2,757,259	2,757,259
利益剰余金	1,073,795	937,654
自己株式	△11,513	△11,581
株主資本合計	5,005,841	4,869,632
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,027	64,641
評価・換算差額等合計	18,027	64,641
純資産合計	5,023,868	4,934,273
負債純資産合計	6,215,002	6,291,982

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	1,532,652	1,915,648
売上原価	1,459,810	1,784,591
売上総利益	72,842	131,056
販売費及び一般管理費	429,766	371,547
営業損失(△)	△356,924	△240,490
営業外収益		
受取利息	2,707	953
受取配当金	7,098	8,029
投資不動産売却益	5,554	5,212
為替差益	1,229	12,653
その他	3,377	4,190
営業外収益合計	19,967	31,040
営業外費用		
支払利息	1,002	855
その他	228	190
営業外費用合計	1,230	1,045
経常損失(△)	△338,186	△210,495
特別利益		
固定資産売却益	—	93,537
特別利益合計	—	93,537
特別損失		
固定資産除却損	952	113
役員退職慰労金	61,469	—
投資有価証券評価損	30,000	—
特別損失合計	92,421	113
税引前四半期純損失(△)	△430,607	△117,072
法人税、住民税及び事業税	3,551	3,551
法人税等調整額	△43,728	△23,346
法人税等合計	△40,176	△19,794
四半期純損失(△)	△390,431	△97,278

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	半導体関連事業	不動産・建築関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,521,670	10,981	1,532,652
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,521,670	10,981	1,532,652
セグメント損失(△)	△109,478	△47,982	△157,460

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△157,460
全社費用(注)	△199,463
四半期損益計算書の営業損失(△)	△356,924

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	半導体関連事業	不動産・建築関連事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,692,431	223,217	1,915,648
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,692,431	223,217	1,915,648
セグメント損失(△)	△30,257	△16,945	△47,203

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△47,203
全社費用（注）	△193,286
四半期損益計算書の営業損失（△）	△240,490

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第2四半期会計期間から、「その他」に含まれていた「不動産・建築関連事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、当第3四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。